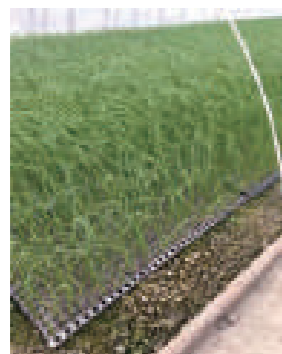


保温力強化マルチの効果確認試験

JAいわみざわ

(株)安藤農産



オニオン



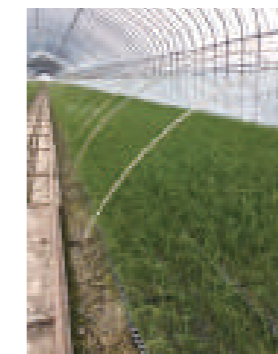
現行



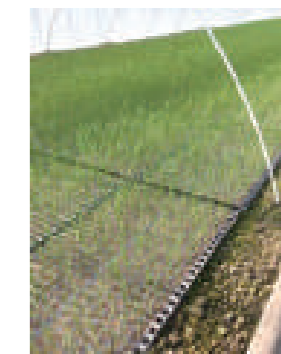
現行



現行



試験



試験

試験目的

新規トンネル資材の効果確認

試験作物 及び品種

玉葱(多品種)

試験資材 及び数量(規格)

サンパワーホットポリ(0.05mm×460cm×100m) 2本

慣行資材

オニオンホット

栽培方法

定植日

慣行区:2月15日

試験区:2月15日

資材使用期間

2月15日～4月1日

試験区面積

480㎡

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

さらさらしており、展張作業は良かった。オニオンホットは農ビに近かった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

特に大きくは変わらない。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 作業性の向上、開け閉めが楽。

【問題点】: 曇ってくる(流滴剤無)、そのため水滴が落ちて欠株になる可能性がある。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

変わらない。

(5)促成・抑制効果について

農ポリと比べると1週間は早い印象。後半はオニオンホットが2日程度早く、試験品は遅れ気味の印象。

(6)保温効果について

保温力はどちらもあるが、試験品は曇っている分光が到達しにくい。そのため温度の立ち上がりに難があり、慣行品に比べて劣る印象であった。しかし、曇り空であると優劣はないと感じた。

モニター感想

以前にクリンテートを使用し、H30よりオニオンホットを使用している。作業性を考慮しなければとても良い商品だが価格が高いのがネックになっており、今回の試験品を使用した。

結果はオニオンホットよりも保温力について劣る結果となり、残念であったが、流滴剤を練りこむなど水滴がつかないように仕組みにすると良い商品になると感じた。

JA担当者の感想(資材推進員 高木 氏)

試験品は価格面で有利である資材と感じました。しかし、流滴剤がないために曇りやすく生産者は苦労されたようでしたので、流滴剤を含んだものであれば普及の可能性があると思われます。

また、当農協管内では大きな規格を望む生産者が多く、オニオンホットが460cmまでしかないために嫌煙されるケースもあり、大きな規格があればより良い資材を提供できると思います。

今後の使用について

改良して欲しい。
流滴剤を使用してほしい。クリンテートDXと比べるとどうなるか気になる。